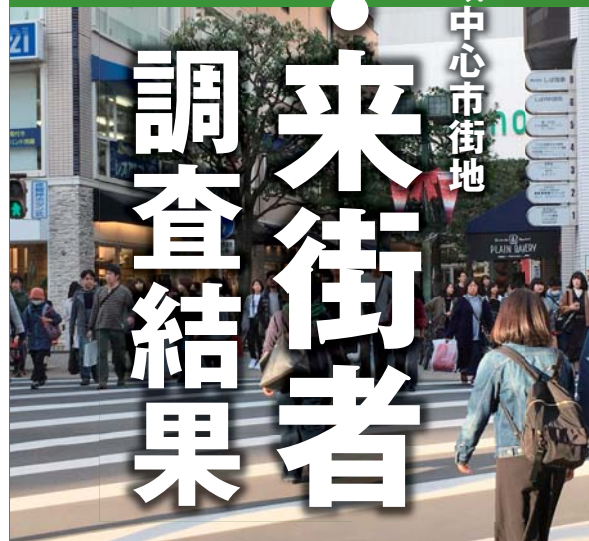


通行量

静岡商工会議所は、静岡市や商店街等の協力を得て、平成30年11月25日(日)に静岡・清水両地域で中心市街地の通行量・来街者調査を実施しました。主な結果は以下の通りです。



来街者 調査結果

静岡地域通行量調査概要

調査日時	平成30年11月25日(日) 10:00~17:00
調査地点	全80地点 ◆ JR静岡駅周辺 ◆ 紺屋町 ◆ 呉服町 ◆ 七間町 ◆ 追手町 ◆ 御幸町 ◆ 伝馬町 ◆ 鷹匠 ◆ 駿府町 ◆ 馬場町 ◆ 宮ヶ崎町 ◆ 南町
調査対象	小学生以上の歩行者
気象状況	晴れのち曇り(日照時間も9時間と穏やかな1日であった) 当日の気温 ※静岡地方気象台調べ [最高気温] 17.0℃ [最低気温] 6.2℃ [平均気温] 11.0℃ (平年12.2℃)

※ 横断歩道上の通行者数のみを計測する補完的調査2地点は、他と条件が異なるため、全地点合計の集計には含んでいない。

通行量の年度比較 (表1)

年度	通行量(人)	指数
平成25年度	388,038	100.0
平成26年度	373,808	96.3
平成27年度	341,718	88.1
平成28年度	354,424	91.3
平成29年度	378,151	97.5
平成30年度	401,321	103.4

- 通行量(人)は、平成8年度から継続調査している58地点の通行量の合計
- 指数は5年前の平成25年度を100とした数値

総通行量は前年度より増加
 平成8年度から継続して調査を実施している58地点の総通行量は401,321人(対前年度比23,170人、6.1%増)で、前年度を上回る結果となった。(表1)
 40万人を超えるのは、平成20年度の418,514人以来10年振り。また、補完的調査2地点を除く全78地点の総通行量についても470,231人(対前年度比

総通行量

総通行量は前年度より増加

通行量上位10地点 (歩道両側合計) (表2)

調査地点	通行量(人)	順位	
		平成30年度	平成29年度
パルシェ前中央地下道	31,071	1	1
新静岡セノバ前南口モール	29,733	2	2
静岡モディ入口前(けやき通り側)	23,357	3	3
松坂屋前中央地下道	23,105	4	4
静岡パルコ前・トラヤ前	20,224	5	9
呉服町/スターバックスコーヒー呉服町通り店前・サンカメラ前	20,088	6	5
紺屋町/タリーズコーヒー静岡紺屋町店前・クーボール会館前	19,548	7	6
呉服町/三保原屋前・旧谷島屋前	19,165	8	8
国道横断ななめ地下道	18,906	9	7
JR静岡駅南口・JR東海静岡支社前	16,225	10	12

28,259人、6.4%増)と、前年度を上回った。
地点別通行量
 パルシェ前中央地下道が3年連続のトップ
 地点別(歩道両側合計)で最も通行量が多かったのは、「パルシェ前中央地下道」の31,071人で、以下「新静岡セノバ前南口モール」の29,733人、「静岡モディ入口前(けやき通り側)」の23,357人、「松坂屋前中央地下道」の23,105人で、前年度と同じ順であった。(表2)
 なお、平成8年度から継続して調査を実施している58地点の地点別

の通行量増減をみると、前年度より増加したのは44地点、減少したのは14地点で、増加地点は前年度より10地点増え、減少地点も10地点減った。また、全78地点の地点別の通行量増減は増加58地点、減少20地点で、増加地点が前年度より8地点増えた。

時間帯・男女別通行量
 通行量のピークは「14時~15時」
 通行量がピークとなる時間帯をみると、「14時~15時」が79,957人で最も多く、次いで「15時~16時」が76,307人、「13時~14時」が75,566人が75,566人の順となった。男女別にみても、ほぼ同じ結果で「13時~16時」の間の通行量が多かった。

全時間帯の男女比では、男性40.9%/女性59.1%で、例年とほぼ同様の傾向だった。(表3)

時間帯・男女別通行量 [全地点合計] 単位:人 (表3)

性別	時間帯							合計(比率)
	10時~11時	11時~12時	12時~13時	13時~14時	14時~15時	15時~16時	16時~17時	
男性	16,897	23,723	28,299	30,835	32,317	30,264	30,200	192,535 (40.9%)
女性	23,713	34,394	39,601	44,731	47,640	46,043	41,574	277,696 (59.1%)
合計	40,610	58,117	67,900	75,566	79,957	76,307	71,774	470,231



商店街ブロック別通行量

6ブロック中5ブロックで
前年度を上回る

中心市街地を紺屋町(地点数6)、呉服町2丁目(地点数6)、呉服町1丁目(地点数3)、七間町(地点数6)、御幸町(地点数6)、伝馬町(地点数3)の6つのブロックに分けて通行量を前年度と比較すると、紺屋町・呉服町(1丁目・2丁目)・七間町・御幸町の5つのブロックで前年度の通行量を上回り、伝馬町ブロックのみ前年度の通行量を下回った。(表4)

商店街ブロック名	平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	通行量(人)	平均(人)※	通行量(人)	平均(人)※	通行量(人)	平均(人)※
紺屋町(6地点)	54,624	9,104	49,780	8,297	43,120	7,187
呉服町2丁目(6地点)	54,070	9,012	51,627	8,605	50,600	8,433
呉服町1丁目(3地点)	10,663	3,554	9,351	3,117	8,937	2,979
七間町(6地点)	14,269	2,378	11,719	1,953	11,926	1,988
御幸町(6地点)	24,165	4,028	22,458	3,743	23,806	3,968
伝馬町(3地点)	7,243	2,414	9,182	3,061	7,519	2,506
合計	165,034	5,501	154,117	5,137	145,908	4,864

※平均:各商店街ブロックにおける1地点当たりの通行量(紺屋町については地下街を除く)

交通拠点からの人の流れ

全方向(5方向)で通行量が増加

JR静岡駅北口からは、歩行者は地下道を利用して御幸町方面「松坂屋前中央地下道」へ51.8% (11,167人)、紺屋町方面「国道横断ななめ地下道」へ48.2% (10,403人)の人が流れた。

静岡鉄道新静岡駅からは、南口方面「新静岡セノバ前南口モール」へ77.4% (14,894人)、北口方面「ペガサート北街道側」へ16.0% (3,069人)、鷹匠方面「越後屋ビル前・薬科銘茶杉山園前」へ6.6% (1,266人)の人が流れた。

両交通拠点からの人の流れは、平成26年度以降ほぼ同様の結果であった。(表5)

交通拠点	通行方向	30年度	29年度	28年度	27年度	26年度
		人数(比率)	人数(比率)	人数(比率)	人数(比率)	人数(比率)
JR静岡駅北口	御幸町方面 [松坂屋前 中央地下道]	11,167人 (51.8%)	10,021人 (50.2%)	9,764人 (50.5%)	9,966人 (56.2%)	10,319人 (55.0%)
	紺屋町方面 [国道横断 ななめ地下道]	10,403人 (48.2%)	9,961人 (49.8%)	9,577人 (49.5%)	7,752人 (43.8%)	8,449人 (45.0%)
静岡鉄道 新静岡駅	南口方面 [新静岡セノバ 南口モール]	14,894人 (77.4%)	14,084人 (78.6%)	11,285人 (73.7%)	11,928人 (74.6%)	12,841人 (76.3%)
	北口方面 [ペガサート 北街道側]	3,069人 (16.0%)	2,704人 (15.1%)	2,268人 (14.8%)	2,201人 (13.8%)	2,801人 (16.6%)
	鷹匠方面 [越後屋ビル前 薬科銘茶杉山園前]	1,266人 (6.6%)	1,133人 (6.3%)	1,756人 (11.5%)	1,851人 (11.6%)	1,186人 (7.0%)

静岡地域中心市街地主要地点通行量

